



町外から寺地西団地に移してきた名吉和佳代さんと山宮礼子さんはこう思っています。



「前は寺尾に住んでましたが、黒埼に来て特に変わったと思うことはありません。病院もスーパーも近くにあるしバスの便もいいし、ほとんど新潟市内と同じですね。だから、黒埼町民という意識は……。でも広い田んぼとか白サギが見られるのはすばらしいです」(名吉和佳代さん・写真左)「家を買って住んでいるのだから一生のつきあいですよ。都会のマンションとは違ったつきあいができれば、それには地域でまとまった行事とか何かがあればいいと思います」(山宮礼子さん)

変わる

あ	な	と		
町	を	つ	な	ぐ

広報

くるさき

1991
12
No.339

山田土地改良区理事長の若林茂さん(下山田)は「解散後は都市近郊型の畑作を」

山田土地改良区は今年度で解散します。北部の宅地開発が進んで農地が急減し、農業投資ができなくなったためです。解散後も専業農家として続ける人たちは、都市近郊型の畑作で収益のあがる農業を営んでいくことになるでしょう。幸い、昔から球根の栽培が盛んでしたし。でも、農家としてはやっぱり寂しさを感じます。山田土地改良区の区域だった地域の将来像は、新潟市のベッドタウンとしてよりよい居住環境の町、あそこはいい町と言われるような町にしていくことなのでしょうね。



「発展の要素があるから進出」と寺地に移転の新潟交通㈱西部営業所の所長手塚光雄さん



ここは用地が安かっただけでなく、これから発展して新しい需要が見込めるようになると思います。ふるさと村のオープンとか道路の改良が進んでいることもバスの拠点としてふさわしいようです。それにまわりの環境もいいです。文教地区という感じで文化施設の整備をし、人が集まるようにしてくれるとありがたいですね。地元から要望のあった大野～済生会病院のバスはうまくいけば来年度くらいに運行できるのでは。車と人を配置するので、利用が多いとありがたいですね。

なら、こんな町に